

# ICTに特化し 障害者就労支援

## 全国初、神戸市が相談機関

神戸市は29日、データ入力やホームページ作成などのICT（情報通信技術）スキルを障害者に伝授し、就労まで支援する相談機関「しごとサポートICT」を開設すると発表した。ICTに特化した障害者への就労支援は全国初。

市によると、民間企業の雇用障害者数は増加しているが、対人コミュニケーションが苦手なことなどによる職場定着が課題となっている。このため、市は、パソコンを利用した業務で障害者が在宅勤務できる環境を整えようと、新たな就労支援に乗り出した。

しごとサポートICTは

10月5日、同市東灘区向洋町中の神戸フアッションマート6階に開設。障害者に対するコンピューター教室などを手がける社会福祉法人「プロップ・ステーション」（同市）に業務委託し、就労の相談や助言のほか、パソコンのスキルを教える。企業からの発注は同法人が契約を結び、障害者の性格や能力に応じ仕事を振り分けるといふ。

同法人の竹中ナミ理事長は「在宅でも働きたいと思う障害者は多い。全国のモデルケースになれば」と話している。問い合わせは、同法人神戸事務所（☎078・845・2263）。